

山行番 NO. 1807
日時 2018. 10. 30 (火) 無風快晴
山域 御坂・十二ヶ岳 (最高峰=鬼ヶ岳 1738m)
コース 長泉 6:00 - 御殿場 (T乗車) - 文化洞トンネル西駐車場発 8:10 - 毛無山 9:27 - 吊橋 (切戸) 10:37 - 十二ヶ岳 11:07 - 鬼ヶ岳 12:12 ~ 53 (昼食) - Tは鍵掛峠経由 - 他、雪頭ヶ岳経由 - 根場 14:15 - 自転車で車回収 - 長泉 16:30
標高差 上り 文化洞トンネル西駐車場約900m ~ 鬼ヶ岳約1738m = 約838m
(ただし、上り下り多い)
下り 鬼ヶ岳1738m ~ 根場約900m = 約838m
参加者 GT, MM, HT, GM, TY = 5名

文化洞トンネル西の駐車場発。天気はサイコー。気温は暑からず寒からず。「三浦家」が多い墓地からトンネル上の登山道に乗る。毛無山まで急な上り。先日の台風24号の倒木が多い。毛無山の標高は丁度1500m。富士山が大きい。ここから十二ヶ岳まで、上ったり下ったり縦走が始まる。途中、何峰か分からない峰もある。十一ヶ岳から大きく下る。太いロープが長く下がっている。下り切ると、キレット (切戸) でアルミ製の吊橋が20m程架かっている。揺れながら楽しみながら、かつ、こわごわと渡る。



渡り切ると、十二ヶ岳の上りが始まる。約150mの岩場の厳しい上り。全体的に岩が脆いので落石に注意。十一ヶ岳を二人降りて来た。

東京の中年の男女だった。「ヨロ・レイホ～」とエールを送る。この方とは結局、最後まで前後した。

11:07、十二ヶ岳着。何処かの中年男女が昼食だった。

富士山をバックに記念撮影。ただ、逆光で御山はイマイチ。

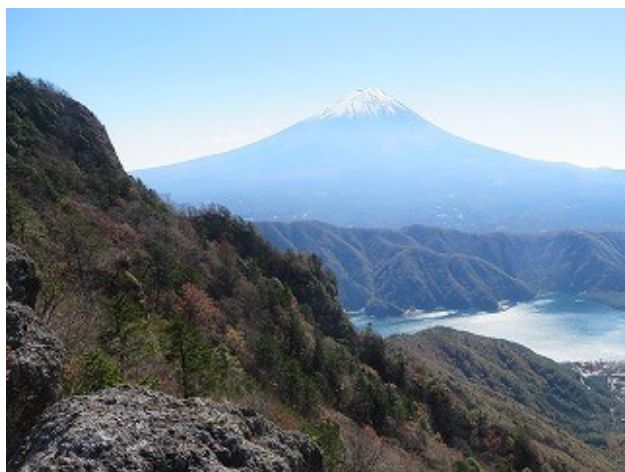
当方も昼食時間だが、まだイヤな所が残っているので歩を進める。

下ったすぐの所にグズグズの岩場がある。落石に要注意。ここをしのげば、後はそれ程問題はない。

稜線は先日の24号台風の爪跡が酷かった。かなり太い樹齢50年(??)位のモミの木が、何本か根こそぎ倒れていた。



殆どがモミの木だった。何故か。モミは常緑樹で秋でも枝葉が豊かに茂っている。それ故に風当たりが相当強いのだ。他のブナ等は、既に葉を落とし風当たりは弱い。それに意外と根が浅い。山岳は岩が多くあまり根を張れないのも一因だろう。また、樹木は殆ど北側に倒れている。普段吹かない、東・南風に弱い。いずれにしても、貴重なモミ大木が何本も倒れたのは残念。12:15、鬼ヶ岳着。出発から4時間。時間的には悪くない。ここで昼食。最高の展望。古い表現なら日本晴れ。このところの好天で南ALPSは雪がなく真っ黒だった。



先ほどの東京の男女が来た。昼食は済ませたという。名古屋に住んでいたが、この辺りの山岳は素晴らしいと言い根場（ねんば）に下った。

我々も鍵掛峠経由根場か、直に根場に下るか決めなければならない。何回も来ている方は前者はパス。初見参の25歳のTには後者を選択させた。

鬼ヶ岳からT君は一人旅で鍵掛峠に向かった。峠まで約1H。ただ、標高は1500m。鬼ヶ岳は1738m。だから、下山道の一部と考えれば、それ程の負担ではないだろう。



天下一品！！



オジ・オバ班は、鬼から下山。昼食後、雪頭ヶ岳の上りがキツイ。

パンダみたいな白黒の犬を連れてオジサンが上って来た。雑種といった。先日の富士山もそうだが、本来、動物を山に連れ込むのは御法度だ。犬は雑菌が多い。山岳動物に影響が大きい。それを知らない愛犬家??!!(輩)が多い。

雪頭からの展望は超素晴らしい。これ程の富士山の展望は多くない。

午後光線で、いくらか富士山が良くなった。昨年12月上ったバリエーションの鬼ヶ岳・南尾根を思い出した。あの時の「鬼の壁」は凄かった。

この時期、マツムシソウが沢山咲いていた。グングン下る。

長い下り。膝がガクガク。林道終点手前でT君から携帯。駐車場近くに下ったと報告。速い。

14:15、我々も駐車場着。これから私はまだ一仕事。文化洞駐車場に車を取りに行く。

実は朝、根場に小型自転車を置いていた。

約4.5Kmを飛ばす。前方に見た方がいた。鬼で会った東京の二人だった。

バスもあるが時間が合わず歩きだった。登山靴で舗装平坦道1Hはキツイ。

車を回収して戻り、皆を乗せ再び文化洞に向かう。二人はまだ駐車場手前を歩いていた。改めて機械(自転車)の威力を認識。この時期、紅葉もマアマアでイイ山でした。



おわり

